

資料番号	3
------	---

令和 8 年 2 月 12 日
 課 名 健康福祉局健康危機管理課
 担当者 課長 草薙
 内 線 3050

「災害応急救助物資の備蓄・調達方針」の見直しについて

1 要旨・目的

「能登半島地震を踏まえた被災者支援の強化に向けた地震防災対策検討会」における専門家の意見や現在の市町の備蓄状況などを踏まえて、災害関連死ゼロに向けた取組を強化する観点などから、今年度、「災害応急救助物資の備蓄・調達方針」を見直す。

2 現状・背景

現在、令和 4 年 3 月に策定した「災害応急救助物資の備蓄・調達方針」に基づき備蓄等を行っている。

〔基本的な考え方〕

- ・品目は、人間の生命・尊厳に関わるものを選定
- ・備蓄目標数は、平成 25 年 10 月に公表された広島県地震被害想定調査報告書の南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき算定
- ・県は発災 2 日目の食料(2 食)及び生活必需品(1 日分)を備蓄(発災初日分は市町が備蓄)

品 目	備蓄目標数 (a)	備蓄数 (R7. 11 末) (b)	不足数 (b-a)
簡易トイレ (個)	7,620	7,912	—
便収納袋・凝固剤 (個)	762,000	641,587	▲120,413
乳幼児用ミルク (g)	241,998	255,385	—
離乳食 (食)	3,542	3,552	—
アルファ化米等 (食)	305,890	526,838	—
毛布 (枚)	34,605	43,560	—
乳児用おむつ (枚)	13,842	16,512	—
成人用おむつ (枚)	2,768	3,760	—
生理用品 (個)	31,823	32,256	—

〔民間団体との災害時応援協定締結状況〕

- ・県は、民間団体との災害時応援協定により、食料や生活必需品等の供給を受けることとなっている。

品 目	供給見込数量	主な品目
食料	約 126,370 食	弁当、パン、缶詰
飲料	約 126,060 リットル	飲料水、お茶
トイレ	85 個	仮設トイレ
ベッド	2,019 個	段ボールベッド、簡易ベッド、介護ベッド
パーティション	22 個	テント
冷房器具	257 台	エアコン、スポットクーラー、扇風機
暖房器具	219 台	ストーブ、ファンヒーター

3 概要

(1) 計画期間

令和8年度～

(2) 策定に当たっての考え方

次の観点から、品目の追加及び数量の見直しを行う。

ア 災害関連死ゼロに向けた取組の強化（品目の追加）

能登半島地震で顕在化した課題である、災害関連死に影響する事象（避難所の生活環境の悪化）を解決するため、次の品目を追加することにより、避難所生活環境の改善を図る。

なお、追加品目については、県と市町で備蓄目標数の2分の1ずつ備蓄することとする。

区 分		品 目	選定理由
① T K B 対策	T	トイレトーパー	トイレ控え解消による健康被害防止や感染症等の二次的健康被害を抑制するため。
	K	調理器具 ・電磁調理器 ・カセットコンロ	温かく、栄養バランスが取れているなど、満足度の高い食事を速やかに提供するため。
	B	・ベッド （段ボールベッド、 エアベッド、簡易ベッド） ・パーティション （個室タイプ、間仕切りタイプ）	快適な居住空間を作り、雑魚寝による健康被害（不眠、疲労、ストレス、低体温症、エコノミークラス症候群、埃吸引等）による健康被害防止するため。
②要配慮者対応		ベッド、パーティション〔再掲〕	（同上）
③女性・ 子供対応	女性	防犯ブザー	犯罪や危険から身を守ることができ、女性の安全・安心な避難生活環境の確保につながるため。
	子供	哺乳瓶	乳児のための授乳環境を整備するため。
④暑さ・ 寒さ対策	冷房	・扇風機 ・スポットクーラー	避難所での熱中症対策による健康被害防止するため。
	暖房	・電気ストーブ ・石油ストーブ	避難所での低体温対策による健康被害防止するため。

イ 新たな広島県地震被害想定調査報告書の被害想定への反映（数量の見直し）

令和7年10月31日に公表された、広島県地震被害想定調査報告書の南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき各品目の備蓄目標数を算定し、適正な備蓄数量を確保することにより、大規模災害に備える。

ウ 備蓄目標数等について（県分） ※品目追加は、太枠表示

		品 目	新目標数 (A)	備蓄数(R8.3 末) (B)	不足数 (B-A)	充足率(R8.3 末) (B/A)	
①TKB 対策	T	簡易トイレ 本体（個）	5,880	7,912		135%	
		便収納袋・凝固剤（個）	587,959	641,587		109%	
		トイレットペーパー（巻）	84,666	140,820		166%	
	K	乳幼	粉ミルク（一般）(g)	143,829	131,220	▲12,609	91%
			児ミ	粉ミルク（アレルギー）(g)	22,131	25,056	
		ルク	液体ミルク(ml)	395,196	734,400		186%
			哺乳瓶（本）		790	—	▲790
		離乳食（食）		3,299	4,256		129%
		アルファ化米等（食）		451,737	537,238		119%
		電磁調理器（台）		588	—	▲588	—
		カセットコンロ（台）		588	—	▲588	—
	B	ベッド（個）		58,055	21,566	▲36,489	37%
		パーティション（個）		29,027	4,697	▲24,330	16%
		毛布、ブランケット（枚）		89,819	43,560	▲46,259	48%
②要配慮者対応		乳幼児おむつ（枚）	15,664	16,512		105%	
		成人用おむつ（枚）	3,593	3,760		105%	
③女性・子供対応		生理用品（枚）	21,258	32,256		152%	
		防犯ブザー（個）	9,921	—	▲9,921	—	
④暑さ・寒さ対策		扇風機（台）	296	10	▲286	3%	
		スポットクーラー（台）	297	—	▲297	—	
		電気ストーブ（台）	268	—	▲268	—	
		石油ストーブ（台）	268	10	▲258	4%	

（補足）トイレットペーパー、ベッド、パーティションについては、今年度、先行して調達済み。

（３）取組の方向

大規模地震等に備え、不足数は、令和８年度から１２年度にかけて、毎年度、不足数の５分の１ずつを確保する方針。

（４）根拠法令

災害対策基本法、広島県地域防災計画